

科目名	保育実習 1 b (保育士必修)			
授業形態	実習	学年	2	
開講時期	2023 年度 前期	単位数	2	
担当教員	河原田 潤、郭 小蘭、葉山 亮三、吉田 亜矢、高田 正哉			
内容および計画	<p>保育実習 I b では、実習先の保育所で観察実習、参加実習等を行いながら、以下の 5 つの目標に取り組む。</p> <p>①保育所の役割や機能を具体的に理解する。  ②観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解を深める。  ③既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育および保護者への支援について総合的に学ぶ。  ④保育の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解する。  ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。</p> <p>*計画欄には、保育所における実習の内容を記載する。</p>			
1	<p>保育所の役割と機能</p> <p>(1) 保育所の生活と一日の流れ  (2) 保育所保育指針の理解と保育の展開</p>			
2	<p>子ども理解</p> <p>(1) 子どもの観察とその記録による理解  (2) 子どもの発達過程の理解  (3) 子どもへの援助やかかわり</p>			
3	<p>保育内容・保育環境</p> <p>(1) 保育の計画に基づく保育内容  (2) 子どもの発達過程に応じた保育内容  (3) 子どもの生活や遊びと保育環境  (4) 子どもの健康と安全</p>			
4	<p>保育の計画、観察、記録</p> <p>(1) 保育課程と指導計画の理解と活用  (2) 記録に基づく省察・自己評価</p>			
5	<p>専門職としての保育士の役割と職業倫理</p> <p>(1) 保育士の業務内容  (2) 職員間の役割分担や連携  (3) 保育士の役割と職業倫理</p>			
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
	『保育実習の手引き』	福島県保育者養成校 連絡会研究部会員	福島県保育者養成校 連絡会	
	『映像で学ぶ 保育所(認定こども園)保育実習のための「指導案」と「日誌」の書き方』(学習テキストのみ購入のこと)	大海由佳/ 前徳明子	(株) 新宿スタジオ	2020

既習の保育関連の教科書を見直すこと。				
<b>参考書</b>				
<b>成績評価</b>				
<b>評価方法</b>				<b>割合(%)</b>
実習先評価				75
教員評価				25
評価については、保育実習指導 I b の講義で説明する。				
<b>学習到達目標</b>	①保育所の役割や機能を実践の場で具体的に理解すること。 ②観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める、かかわり方について自ら考えること。 ③既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育および保護者への支援について総合的に学び、実践と繋がった理解をしようとする事。 ④保育の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解すること。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学び、実践の場でのあり方を理解すること。			
<b>先修条件</b>				
<b>実務経験</b>				
<b>その他</b>				